

(様式1)

平成27年度 学校評価報告書 (学校評価結果のとりまとめ)

神戸市立垂水養護学校
校長：河地満則

項	重点目標(取組)	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等
向 一 け 人 た 一 力 人 を の 伸 自 ば 立 す に	学習指導の充実化	授業が一番大切だという共通理解のもと、教材の工夫や授業展開の仕方などお互いの評価をしあっている。	A	より積極的な授業公開や教職員同志の「授業」に特化した学び合いの場を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の声掛けがいてねいで、授業の工夫ができています。 大人が無意識に使っている言葉を子どもが理解できているか 合理的配慮をしっかりと理解することで個別の指導計画の中身(手だて)につながる。 先生方は、課題をやらなくちゃ→自分がみなくちゃ→連絡帳書かなくちゃ、と。もう少し児童生徒を見てほしい部分もある。
	実態把握にもとづいた個別の指導計画の作成	授業ごとの記録の積み重ねと検討を重ねている。	B	目標を意識した日々の授業展開を行う。	
	I C T の活用	一部の生徒で私用タブレットを使用している。	B	教育用端末(タブレット型)活用研究推進事業に申し込み、認められたので来年度より計画的効果的に使用できそうである。	
実 教 力 職 を 員 磨 き 学 校 の 魅 力 と	「垂養研修」のさらなる充実をはかる	「垂養研修」は、大学教授を招いて、授業参観、指導、助言をいただく全職員対象の取り組みである。	A	来年度は閉校の年度なので3学期は今までの年間3回から2回に減少するが、中身をより充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> P T Aアンケートでは、年々「学校が楽しみ」という結果が高くなっている。その通り楽しく通えているようである。 児童生徒が嫌がったりして若い先生の授業がうまくいかない時など、ベテランの先生がどのくらいアドバイスしているか。 保健室の中が見えないのが残念。 児童生徒の後ろを通る時などの先生どうしの声掛けがとても心地よい。 教室の中にいろいろなものがありすぎて刺激はどうかと気になる。
	各種研修の充実	「救急対応訓練」や「プール指導研修」その他各種の研修が数多くあり、多くの教職員が取り組んでいる。	A	救急対応訓練が通学部での実施となり、通学時での訓練がより充実したものになると思われる。	
	「自立活動実践集中講座」のさらなる改善	本校を代表する取組であり、これによって教職員の力量も向上する。	A	来年度は4日間となり、さらに充実した内容をめざす。	
更 に 発 展 さ せ る 神 戸 の 教 育 を	センター的機能のさらなる充実	自立活動の校内研修の案内を地域校に配布。地域校よりの相談などを積極的に受けている。	B	障害者差別解消法の施行が近づき、多くの地域校から相談等があった。より対応をスムーズにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の生徒のイメージを教職員が持てるかどうか。たとえば、人を呼ぶ時に今の児童生徒に必要なスキルは何か。 各学部が高等部卒業を見通して一貫した指導ができていくか。社会へ移行していくときの課題に対しての指導が必要。自分の思いを発信できる(人を呼ぶとか)等。
	地域校への本校研修の積極的な案内	神戸市のパワーアップ研修のうち3本(動作・感覚・手指)を本校で担っている。	A	地域校により積極的に案内をする。	
の 市 民 が 自 ら 学 び 支 え る 子 供	学校評価の結果の公開	ホームページなどでの積極的な公開。	B	引き続き積極的な公開を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 先輩の保護者にいろいろ相談するのもいいのかなと思う。 親が思っていることと子どものニーズが成長とともに変化していく。中・高になると、親の思い通りにはならない。先生や学校のヘルプが助かるし、ほしいと思う。
	行事の案内を積極的に地域にも伝える	学校祭の案内を地域に行き、地域の人々が買い物等に来てくれた。	B	ポスターやちらしなどさらに本校らしいものを考案して、積極的に広報につとめる。	

<評価基準> A：十分達成されている B：相当程度達成されている C：達成がやや不十分である D：達成が不十分である